

Weekly コラム

令和5年11月21日

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

ドル覇権の終わりの始まり

6月1～2日にかけて、ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカで構成される BRICS 外相会合が開催されました。そこでのテーマの一つがドルの依存から脱却するための共通通貨の創設です。

ドル依存からの脱却はイーロン・マスクもツイートするほど、脱・ドル化 (DeDollarization) の報道は、多くなってきています。前米大統領のトランプ氏は、「私たちの通貨は暴落しており、間もなく世界標準ではなくなるだろう」と述べています。これらのことからわかるように、世界的な脱ドル志向が加速しているのです。もしかしたら、ペトロダラー (ドル・石油本位制) の終わりの始まりなのかもしれません。

ロシアのハバコフ下院副議長もドル依存からの脱却のために BRICS が独自の通貨を作成するために取り組むべきだと主張しています。報道によれば、インドのニューデリーで開催されたサンクトペテルブルクの国際フォーラムのイベントで、この発言を行ったそうで、ハバコフ氏は新たな共通通貨に向けて、インドとロシアが協力する重要性を強調し、デジタル通貨が最も有用で実現可能だと述べたそうです。また、ハバコフ氏は新通貨、は金やレアアースなどのコモディティで、保証するとのアイデアも披露したそうです。

ただ、このブリックス通貨構想は 2019 年にもありましたが、まだ実現化できていないのが現状です。その理由として考えられるのが中国です。もし、ブリックス通貨が現実化すれば、ブリックス諸国で起きた経済危機の悪影響を

受ける事になり、共通通貨を守るためには、世界第二位の経済大国の中国が矢面に立たなくてはならなくなるので、それを中国が容認するとは考えにくいからです。

世界的にみて脱ドルの動きがあるのは確かです。イギリスからアメリカに基軸通貨の覇権が移ったように、アメリカからどこかの通貨に覇権がうつる日も近いかもしれません。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。